

令和4年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(公民)科目：(政治・経済) 対象：(第3学年A組～F組)

科目担当者：

教科・科目の 指導目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察でき、公正な判断力を持ち、良識ある公民として必要な能力と態度を持てるようにする。
----------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	政治・経済の基本的な知識が不十分である。 政治・経済の実際の諸課題についてあまり興味関心を持たない。 新聞等を通じて現代の諸問題に触れることが少ない。	1 基本的な政治・経済の概念について教科書や資料集を通じてきちんと理解できるように授業内容を精選する。 2 基本的な内容がどのように実際の諸課題とつながっているか、を理解できるように新聞等を授業で利用するNIEの手法を用いる。 3 近い将来有権者となる自覚をもって市民感覚をそれぞれが持てるように社会への関心を自発的に持てるように時事問題を取り上げていく。	1 個別の質問対応 年間を通して日常的に生徒の質問等に対応する。 2 定期考査前の対応 考査ごとに学習目標を示し、自律的学習を促すとともに、質問に対応する時間を確保する。 3 図書室との連携 図書室の新聞、資料集や年鑑等の参考図書の利用法を司書と協力しながら指導する。 4 新聞数紙を比較し、多角的な視点から社会の諸問題を見ていく練習をする。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			